



八雲高校学習発表会

「二海のビジネスを考える」が開催されました

1月27日、はぴあ八雲において八雲高校総合ビジネス科の生徒による学習発表会「二海のビジネスを考える」が開催されました。

生徒たちは「観光」・「物産」・「行政」の3つの視点から八雲町の現状や課題について探究し、その成果を来場者に向けて発表しました。

地域の将来を見据えた提案や高校生ならではの柔軟な発想に会場から大きな関心が寄せられました。

この学習を支援している株式会社木蓮の近藤社長からは「高校生の視点が素晴らしい。これからもぜひ協力していきたい。」と温かいエールが送られました。



「第3回 町長と高校生の意見交換会」を開催しました

2月9日、八雲高校において「第3回 町長と高校生の意見交換会」が開催されました。

この意見交換会は、八雲高校2年生が「総合的な探究の時間」の授業で取り組んでいる「八雲町をよりよい町、住みよい町にするには」という研究課題について、町長との対話を通じて、学びを深めるとともに、若い世代の意見を町政に反映させる事を目的として、令和5年度から実施しているものです。

当日は、進学などで町を離れた人が「また戻ってきたい」と思えるまちづくりについて、活発な意見が交わされました。SNSによる広報活動やコンビニエンスストアとのコラボレーション企画など、高校生ならではの視点に立ったさまざまな提案が出されました。一人ひとりの意見や質問に対して町長が丁寧に応じ、充実した意見交換会となりました。



八雲の未来を本気で考える！

八雲小学校6年生が“八雲町の人口減少”をテーマに発表会を行いました

2月13日、八雲小学校6年生が、「八雲の未来を考えて」をテーマに探究学習を行いました。

この学習は、昨年10月から総合的な学習の時間（ユースラップタイム）の一環で「人口減少」に焦点を当てて取り組んできました。児童たちは、八雲町の人口減少の推移を調査した結果、働く場所や働き手が減少の一途をたどり、若い世代の流出が続き活気が失われること、多様な経験ができる機会が減少することなどを課題に掲げ、八雲高校や八雲中学校の3年生、八雲小学校の保護者等町内各所でアンケート調査を行い結果を分析、八雲町の人口減少対策や地域の活性化につながる解決策を考察し、グループごとにまとめて発表しました。

児童たちは、直面する人口減少に危機感を持ちながらも、解決するために「自分たちに何ができるか」を前向きに考て提案しました。この学びをきっかけに、これからも八雲町の現状と向き合いながら、様々な視点で未来を考えていってほしいと思います。

